

「会長就任にあたって」

日本複合・防音床材工業会 新会長
朝日ウッドテック株式会社
執行役員 商品部副部長 伊藤真浩



日頃より当工業会に多大なるご指導、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度、2024年6月14日の定時総会にて、当工業会の会長を務めることとなりました朝日ウッドテックの伊藤です。就任に当たっての抱負を申し上げる前に、この場をお借りして、松川前会長に一言、お礼を申し上げたいと思います。松川前会長に於かれましては、国産材基材の活用に向け床暖房対応複合フロア適合性試験規格の運用開始にご尽力いただきました。そのご尽力に対して、心から敬意と感謝の気持ちを表したいと思います。ありがとうございました。

コロナ禍が明け、ようやく通常の生活が戻ってきました。しかしながら住宅市場におきましては、円安による資材高や人件費の高騰による販売価格上昇の影響などで、新設住宅着工戸数は非常に厳しい状況が続いております。また、トラックなど物流業界の「2024年問題」が話題となっておりますが、住宅・建設業界においても同様に働き方改革の関連法改正により時間外労働の上限が2024年4月から強化されています。人口減少や少子高齢化の中、今回の残業規制が加わることで働き手不足がより深刻さを増し、その結果として住宅着工の遅れやフローリング販売量の低迷が懸念されるところです。このような状況の中ですが、私が取り組みたいことを以下に述べさせていただきます。

一つ目は、これまで取り組んできた床暖房対応フローリングの規格運用を進めて、複合フローリングの国産基材比率50%という目標を達成することです。

既に「複合フローリングの床暖房への適合性試験規格」の策定および、国産材基材による床暖房対応複合フローリングの技術開発を行いました。昨年4月からは前述の通り、

JAFMAが定めた条件、手続きを満たした製品を登録する制度の運用を開始しております。今年度も登録商品の拡充や、円滑な運用に向けての検証が必要であることから引き続き活動を続けて参ります。

また「防音直張りフローリング」の床暖房試験規格につきましても、規格制定に向けた準備を進めていきたいと考えております。

今一度、皆様方のご協力をお願いすると共に、国産材の活用拡大を通して、環境保全に貢献したいと考えております。

そしてもう一つは、当工業会の活動を通じて、お客様に複合フローリングの価値をより正しく理解していただくことです。

これまでもJAFMAホームページ「フローリング・ナビ」において、エンドユーザー向けにフローリングの種類と選び方、お手入れ方法など分かりやすく掲載するなど、業界情報の発信を行ってきました。昨年は最もアクセス数が多い「防音関連」コンテンツの内容改訂を行いました。

2024年度におきましては、床暖房規格運用とも連携した内容を検討するなど、より分かりやすいコンテンツの拡充を引き続き進めていきたいと考えております

以上、当工業会は、今年度も会員会社・関係団体・省庁とのつながりを強め、業界の更なる発展に貢献して参りたいと思います。引き続き、皆様方のご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。